

重粒子線がん治療施設整備運営事業民間事業者の決定について

重粒子線がん治療施設整備運営事業について、平成 25 年 7 月 31 日に募集要項の公表を行ったところ 2 者の応募がありました。

地方独立行政法人大阪府立病院機構では、学識経験者から構成する「重粒子線がん治療施設整備運営事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、選定委員会で審査した結果を踏まえ、次のとおり民間事業者を決定しましたので、お知らせします。

1 民間事業者（仮称）医療法人協和会グループ

2 選定結果の概要

1) 応募者（受付順）

グループ名	財団法人大阪生命科学研究所グループ	（仮称）医療法人協和会グループ
代表事業者	財団法人大阪生命科学研究所	医療法人協和会
構成事業者	医療法人社団敬命会 社会福祉法人西谷会	グリーンホスピタルサプライ(株)
協力事業者	(株)日本設計 (株)竹中工務店 三菱電機(株)	(株)日建設計 鹿島建設(株) (株)東芝

2) 選定委員会における審査結果（受付順）

○ 財団法人大阪生命科学研究所グループ

（総合得点 113.13点、うち、土地貸付条件の得点10点、定性的審査の得点103.13点）

- ・運営体制について、診療時間が長いことは患者の利便性には配慮されているが、医療スタッフの確保や就業環境に対する懸念がある。
- ・建築計画について、機能性、周辺環境、景観への配慮等が評価されたが、診療室と治療室が1階と2階に分かれていることについて、医療スタッフの動線に配慮が必要との意見があった。

○ （仮称）医療法人協和会グループ

（総合得点 119.98点、うち、土地貸付条件の得点9.98点、定性的審査の得点110点）

- ・運営体制について、目標患者数の設定が堅実である。
- ・収支計画について、自己資金が多く実現可能性が高いことが評価された。
- ・建築計画について、周辺環境、景観にもっと配慮すべきとの意見があった。
- ・治療装置計画について、すべてスポットスキニングで実施することに対する懸念がある。

3) 選定委員会からの意見・助言内容（選定事業者のみ）

- ・建物のデザインについて、大阪城に面した環境に配慮した景観となるよう設計段階での工夫を求める。
- ・治療装置について、安定した治療を行っていくためには、照射システムにおいて技術面で未確定なスキニング照射のみで実施するのではなく、ワブラー法を取り入れることを検討されたい。

3 選定委員会委員（五十音順・敬称略）

委員名	専門・研究分野
小川 和彦 （大阪大学大学院医学系研究科 教授）	放射線治療学
加藤 晃規 （関西学院大学総合政策学部 教授）	周辺環境、景観
高橋 徳男 （地方独立行政法人神奈川県立病院機構 副理事長）	重粒子線がん治療施設の整備運営
土岐 博 （大阪大学核物理研究センター 名誉教授）	重粒子線がん治療装置の研究開発
中野 時浩 （地方独立行政法人大阪府立病院機構 事務局長）	医療行政
西山 謹司 （大阪府立成人病センター 副院長）	成人病センターとの連携
山田 和民 （日本公認会計士協会 公認会計士）	財務、資金計画

4 提案スケジュール（予定）

- 平成26年1月 基本協定締結
- 平成26年4月 基本設計・実施設計
- 平成27年4月 建設工事着工
- 平成29年度 開院予定

添付資料

事業提案書の概要について